

# 予測を含む気象データを利用した水稻、小麦、大豆の栽培管理支援システム

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他  
(気候変動への対応)

生産 品目：水稻、小麦、大豆

## 技術の概要

水稻、小麦、大豆の栽培管理を支援するシステムである。利用者がウェブページから作物の品種や播種日、圃場の位置等を登録すると、気象データと作物生育予測モデル・病害予測モデル等を用いて、発育予測、施肥適期・量、病害防除適期等の栽培管理支援情報や早期警戒情報を作成・表示できる。



## 効果

### ◎生育状況や気象状況に応じた適期防除の判断

紋枯病や稲こうじ病などの発生を予測し、被害を軽減するための情報が提示される。

### ◎早期警戒情報による農業気象災害を軽減

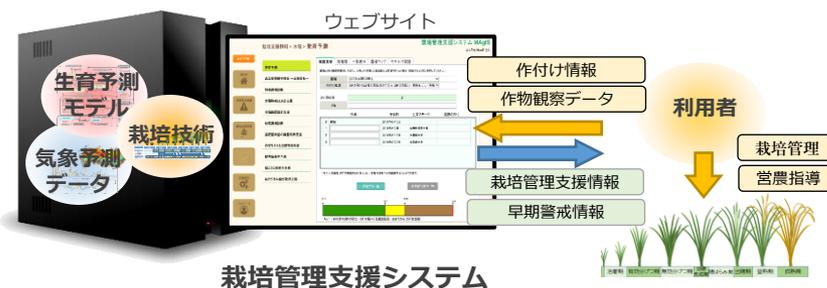
高・低温情報やフェーン注意情報など異常気象に関する情報により早めの対策を行うことが可能になる。

### ◎適期管理・施肥量のアドバイスを提供

作物の発育ステージに応じた栽培管理が可能になり、追肥の施用適期や施肥量が算出される。

## ●栽培管理支援システムによる情報提供

利用者はWEBサイトより情報を取得できる。一部の情報コンテンツはWeb-API化しており、農業データ連携基盤（WAGRI）でも利用可能である。



## 導入の留意点

### ●実際の栽培状況との整合性を確認する必要

一般的な栽培状況と異なる栽培を行っている場合、予測値がずれる可能性があるため、あらかじめ実際の状況との整合性を確認して利用することが望ましい。

## その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 関連システム（普及版）のURL  
<https://sakumo.info/>



## 関連情報

栽培管理支援システムver.1.1  
利用マニュアル（平成31年）

